

令和6年度学校評価

学校法人白百合学園 白百合幼稚園

★教育方針

- ①健康、安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- ②人への愛情や信頼感を育て、自立と協同の態度及び道徳性の芽生えを培う。
- ③自然などの身近な事象への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ④日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養う。
- ⑤多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

★自己評価

教育環境の充実のために、まず施設面では、省エネ対策として園舎の全照明器具のLED化工事を奈良県からの補助で行い、保育室のエアコンクリーニング、遊具の点検、水質検査等を行った。劣化していた園庭遊具の汽車にかわり、プレイハウスや熱中症対策として熱暑対策テントを奈良県の補助を受けて購入した。また、未就園児教室の充実にむけてあらえるブロックベンチ、ハンガースタンド、たためるもちもちマットと絵本を卒園生から寄贈していただいた。

昨年に引き続き、防犯教室、防犯訓練や避難訓練、交通安全教室を行い、教職員、子ども達の安全教育に努めた。防犯教室では、教職員の対応の仕方や今後の課題を生駒警察署の方にご指導いただき、避難訓練は各学期毎に行い、そのうちの1回は生駒消防署の方のご指導を受けた後に、職員による消火活動や園児が楽しみにしていた消防車見学を行った。また本園が土砂災害警戒区域に入っているので、美楽来への避難訓練も行った。交通安全教室では、年中・年長が生駒市防災安全課の方から、学年ごとに信号や踏切での横断の仕方の指導を受けたりして、交通安全のルールを学んだ。冬休みには、教職員が生駒消防署の救命入門講習を受講し、AEDの使い方を含む子ども対象の蘇生法の実技練習を行った。

育友会に、サイエンスショー、カプラのワークショップやいこまプラス演奏会の知育活動を開催していただき、楽しい時間を過ごし、またハロウィンパレードでは保護者の方々による学年ごとの衣装を着て大いに盛り上がった。運動会や音楽会、年長児のお楽しみ遠足など、それぞれの行事で一人ひとりの努力と共に目標に向き合って成し遂げる経験を通し、それぞれの成長を感じることができた。

観察農園では、ブルーベリー、サクランボ、温州みかん、八朔、レモン、柘榴の果樹の、また玉ねぎ、じゃがいもさつまいも、大根の収穫を楽しみ、家に持ち帰って家族と収穫の喜びを共有したり、園では昼食時に味噌汁やジャムを食べ、いつも完食でお鍋が空っぽになっていた。大根は種から蒔いて、水やりをしたり、その生長を観察し、最後には一人一本の大きな大根を抜き、大切に園まで抱えて各家庭に持ち帰った。家庭では、料理を手伝ったり、家族と食べる時には、収穫した時のエピソードを自慢げに話しているようだ。保護者の方からも、貴重な体験だとたいへん好評であった。

保護者のアンケートの結果をみると、農園での活動（食育も含め）は、本園でしかできない体験として高評価をいただいているが、農園活動も含めた普段の様子を見たり、時間的な制約の少ない自由参観を増やしてほしいとの声もあったので、機会を増やしていきたいと思う。今後はアンケートによらず、普段から保護者の声が届きやすいようにしていきたい。

子ども達が園で友達や職員と一緒に過ごし、遊びや生活の中で楽しく学び、心身ともに健やかに成長できるように、職員は園外の研修に参加し、各自の資質を高め、教育の質の向上に努力を重ねて、人格形成の基礎となる幼児期を預かる責任を真摯に受け止め、よりよい保育をし、研鑽を積んでいきたい。

★学校評価

令和7年7月3日(火)に学校評価アンケート結果及び職員による自己評価を参考資料として会議を行った。アンケート結果から、保護者は概ね園の教育を評価していると考えられるが、いくつかの質問では、1割の方が、どちらともいえないと答えていたので、その点について検討して改善する努力が望まれる。ICT化を進める中で、保護者の中には紙面の方がよい場合もあるとの事なので、そこは柔軟に保護者のニーズに応えるべきであろう。また、保護者に本園の教育目標や保育への理解をさらに得るためには、ICTを有効に使って、日常の子ども達の幼稚園での様子を配信したり参観や懇談で保護者が来園する時に、普段の様子を撮影したものをTVモニターで視聴する機会があると、保護者は幼稚園に対して理解も深まり、保護者と園の関係がより良いものとなるであろう。

白百合幼稚園独自の農園活動は他園にはない活動であり、一年間を通して子ども達の食育や自然への興味を持つ貴重な体験ができるので大変好評であるが、今後は保護者のボランティアを募り、実際に農園活動と一緒に体験する機会を提供するのもよいだろう。今後も子ども達の豊かな成長を念頭に職員それぞれが研鑽を重ね、より良い幼児教育を提供できるよう努力を重ねてほしい。

令和6年度学校評価アンケート集計結果

A・・・はい B・・・どちらともいえない C・・・いいえ

1. お子様にとって幼稚園はどうだったでしょうか？	A	B	C
①子どもは幼稚園に行くことを喜んでいる。	141	17	2
②子どもは幼稚園で、家ではできない様々な体験をしている。	158	2	0
2. 保護者の方にとってはどうだったでしょうか？			
①子どもを白百合幼稚園に入園させてよかった。	150	10	0
②幼稚園の教育方針に賛同している。	157	3	0
③子どものことについて、園や先生に相談できる。	156	4	0
3. 幼稚園の教育についてお聞きします。			
①園はお便り等で園の教育方針や考え等を、わかりやすく伝えようとしている。	146	14	0
②園は参観、懇談会等で、保育や子どもの様子がわかるように努めている。	159	1	0
③園は子ども一人一人を大切にしている。	155	5	0
④園は子どもの森や観察農園等、園内の自然を保育に生かしている。	160	0	0
⑤園は外遊びや体づくりなど、子どもの健康増進に努めている。	139	20	1
⑥園は不審者侵入や災害などに対する安全対策をとっている。	150	10	0
⑦園の正課(音楽指導・体育指導・英語指導・お茶のおけいこ)に満足している。(年中・年長児対象)	103	8	1
⑧園の正課(英語指導)に満足している。(年少児対象)	36	11	1
4. 預かり保育についてお聞きします。			
①預かり保育を利用したことがある。	121		39
②預かり保育の利用時間は今のままでいい。	128	26	6
③早朝預かり保育を利用した。	22		138
④夏休み等の長期休暇中の預かり保育を利用した。	48		112
5. 農園活動をはじめとする食育に関する質問にお答えください。			
①農園の話をお子様から聞いたことがある。	157		3
②農園での収穫物について、話を聞いたことがある。	158		2
③幼稚園で食べてから、ご家庭でも食べるようになった食べ物がある。	110		50
④食べることに興味を持つようになった。	141		19

令和6年度職員自己評価

A：はい

B：努めているが、十分とはいえない

C：いいえ

① 教育課程・指導		A	B	C
1	園の教育課程を理解し、それをもとに保育の計画を立てている。	☐		
2	指導計画は常に見直しを行い、幼児の実態にあわせて変更している。	☐	☐	
3	それぞれの行事に幼児が積極的に参加できるよう指導している。	☐		
4	教師の願いや意図を持ち、幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	☐	☐	
② 健康と安全への配慮				
1	朝の登園時には、視診を大切にし、子どもの体調が悪くないかを確認している。	☐		
2	健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる。		☐	
3	緊急事態発生時に教職員が役割を把握し、連携して行動ができるよう訓練をし、共通理解を図られている。	☐	☐	
③ 幼児のみとりと理解・対応				
1	一人一人の幼児をよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止め、関わるようにしている。	☐		
2	幼児同志のトラブルに対し、適切な対応をしている。	☐		
3	幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている。	☐		
4	特別に支援が必要な幼児には個別に記録するようにし、又園内において共通理解を図り、必要に応じて専門機関との連携をしている。	☐	☐	
④ 教師としての資質・能力・良識・適性				
1	幼児や保護者との対応には、公平さを心掛けている。	☐		
2	園の教材等は節約して使い、後で使う人のことも考えている。	☐		
3	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	☐		
4	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。	☐		
5	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。	☐		
6	他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べることができる。	☐	☐	
7	各自の担当や当番の事前準備を行い、仕事に取り組もうとしている。	☐		
8	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている。	☐		
⑤ 保護者への対応				
1	保育参観や懇談会では、子ども、保育、家庭でのあり方などについて共通理解を得るように努めている。	☐		
2	保護者の話を心を開いて聞き、伝えるべきことは的確に伝え、信頼関係を作ることに努めている。	☐		
3	園のすべての保護者に対し、挨拶や会話を心がけている。	☐		
4	クレームや子育ての心配事をうけた場合は、謙虚に話を聞き、園長、副園長等へ連絡・報告・相談をしている。	☐		
⑥ 地域の自然や社会との関わり				
1	地域の季節ごとの自然の移り変わりに常に興味を持っている。	☐		
2	地域の人々と挨拶を交わしたり会話をするようにしている。	☐	☐	
⑦ 研修				
1	研修会には自己課題を持って進んで参加している。	☐	☐	
2	自分の保育について計画と反省を行っている。	☐		
3	他園の見学をしたり公開保育を見てみたいと思う。	☐		
4	園内で幼児理解を深めるための事例検討会等を行っている。		☐	